令和8年度　院内集合研修計画

カテゴリ	研修プログラム名	ねらい・目標	研修内容	講師
新採用看護職員研修	レベルⅠ接遇	専門職業人としての接遇のあり方を学ぶ	（講義）医療接遇とは	看護副部長
	事故防止①	看護業務を行う環境の特徴とリスクを理解できる	（講義）医療安全対策、ヒューマンエラー、看護に特化したリスク	専従リスクマネージャー
	感染防止	感染防止のための基礎知識と技術を学ぶ	（講義）感染対策の必要性、基本的な考え方、標準予防策 （演習）マスク・手袋・エプロンの着脱、滅菌物・廃棄物の取扱い	感染管理認定看護師
	採血	事故・感染防止をふまえた採血に関する知識・技術を確認し実践に役立てることができる	（演習）院内看護手順に沿った「採血」の実施	新人教育担当者
	◆看護補助者との協働推進のための研修	看護職が看護補助者との協働に必要な知識や考え方を理解し、現場での安全な業務実施のための役割分担や業務指示に活用することができる	（講義）看護補助者の制度的位置づけ、看護補助業務の範囲、業務指示における看護職の責任などについて	看護副部長
（新人）看護職員研修	レベルⅠ看護記録	当院の看護記録の手引きに沿った記録の仕方がわかる	（講義）看護記録の目的、構成要素、診療情報の取扱い、注意すべき事	看護係長
	看護の専門職性・診療報酬	・看護の専門職性について経済性の視点を持ち考える ・診療報酬の仕組みと看護の関連を学ぶ	（講義）看護の専門職性、診療報酬と看護	看護副部長
	医療機器	事故防止の観点から医療機器の取扱いについて学ぶ	（講義）ＭＥ機器の取扱いと安全対策	臨床工学課課長
	看護記録の実際	当院使用の看護アセスメントの枠組みと看護診断について学ぶ	（講義）看護診断の位置づけ、看護診断の理解	看護係長
	レベルⅠフィジカルアセスメント	日常ケアに必要なフィジカルアセスメントの必要性と方法が理解できる	（講義）フィジカルアセスメントとは、問診・視診・触診・打診・聴診の基本 （グループワーク）事例検討	集中ケア認定看護師
	事故防止②	看護業務に関わる医療事故の種類・要因・対策を理解し、考える事ができる	転倒転落防止、誤嚥窒息防止、医療機器にまつわる事故防止、危険予知トレーニング	専従リスクマネージャー
	薬の基礎知識	薬の基礎知識を学び、看護実践に活かす	（講義）添付文書の見方と活用、注意が必要な薬剤、薬剤別の留意点	薬剤部長
	レベルⅠ静脈注射Part1	安全に静脈注射を実施するために必要な基礎知識を習得する	（講義）静脈注射実施時の法的責任と安全管理、薬剤の基礎知識、注意すべき薬剤の取扱い	薬剤師 教育研修推進室
	レベルⅠ静脈注射Part2	静脈注射指針の静脈注射実施範囲『レベル2-A』の技術を学ぶ	（演習） チェックリストを用いた「レベル2-A」の演習 翼状針による点滴静脈注射、三方活栓からの静脈注射	新人教育担当者
	レベルⅠ輸血Ⅰ（講義）	輸血についての基本的知識を学ぶ	（講義）輸血の特殊性、種類、副作用、検査、自己血輸血、安全、輸血業務の流れ、輸血実施時の確認方法	臨床輸血看護師 専従リスクマネージャー
	レベルⅠインスリン	インスリンの基礎知識を習得し、安全で確実な実施方法を学ぶ	（講義）インスリンの種類、作用、保管、注入器の種類、注射時のポイント、低血糖 （演習）シリンジ注射器、ペン型注射器、点滴内混注	糖尿病看護認定看護師 糖尿病療法指導士 新人教育担当者
	１か月の振り返り	1か月間の看護実践を振り返り、グループで共有し、自己課題を整理できる	1か月を振り返り、自己課題を整理する （グループワーク）情報の共有・交換	教育研修推進室
	輸液ポンプ・シリンジポンプ・モニター	・輸液ポンプ・シリンジポンプが安全に使用できる ・モニターの取扱いを体験し病棟業務に活かせる	（演習）輸液ポンプ、シリンジポンプ、心電図モニターの取り扱い	臨床工学課課長 （教育研修推進室）
	吸引・ネブライザー	・経鼻および経口的咽頭吸引、気管内チューブ、気管切開孔からの吸引の手技を体験し、知識・技術を確認、実践に役立てることができる ・ハンドネブライザーの使用方法・注意点がわかる	（演習）院内看護手順に沿った「吸引」「ハンドネブライザー」の実施	新人教育担当者
	リフレッシュ研修Ⅰ	・悩みや思いを共有し、活力をつける ・日頃の対人関係を振り返る	レクリエーション グループワークと発表	新人教育担当者
	ラダー学習会　Ⅰ	ねらい：指標を理解し、キャリア開発ラダーの理解を図る 到達目標：①キャリア開発ラダーの意義が理解できる ②「赤十字の看護師の看護実践能力の指標」が理解できる	（講義）キャリア開発ラダーの意義、レベルⅠを受ける前提条件、赤十字看護師の看護実践能力の指標について	ラダー認定委員会委員
	3か月の振り返り	ねらい：3か月の看護実践を振り返り、自己の課題、目標を整理し、皆で共有することで次のラウンドに向かう準備ができる 到達目標：3か月の振り返りから自己の課題・目標を整理できる	3か月を振り返り、自己課題を整理する （グループワーク）情報の共有・交換	教育研修推進室

カテゴリ	研修プログラム名	ねらい・目標	研修内容	講師
（新人）看護職員研修	レベルⅠ　倫理	ねらい：臨床における倫理的問題に気付くことが出来る 到達目標： ①「赤十字の基本原則」「看護職の倫理綱領」について学び、看護倫理とは何か知ることができる ②身近にあるジレンマを倫理的問題として整理することができる	講義およびグループワーク ①看護倫理とは ②「赤十字の基本原則」「看護職の倫理綱領」について身近な事例を通して理解する ③社会人として、看護職者として守るべきものとは ④倫理的ジレンマを理解する ⑤事例を通して倫理的問題を検討する	看護倫理委員会委員
	パートナーシップ・マインド研修	パートナーシップ・マインドを育て、新人看護職員としての役割を理解し、与えられるばかりではなく、新人としてできる範囲で相手に与える事ができるように、新人の意識をめることができる	（講義）パートナーシップマインドとは （グループワーク）ロールプレイを見てグループワーク	ＰＮＳ推進委員会委員
	レベルⅠ急変時の看護	ねらい：急変時の看護、対応について学ぶ 到達目標：①急変時の対応についてイメージができる ②急変時の連絡方法、役割が理解できる	（講義）急変時の看護、対応 （演習）急変時対応のシミュレーション	救急看護認定看護師 クリティカルケア特定認定看護師 新人教育担当者
	レベルⅠ静脈注射Part３	ねらい：静脈注射指針の静脈注射実施の範囲『レベル2-B』の技術習得 到達目標：静脈留置針挿入時の注意事項が理解できる シミュレーターを使用して静脈留置針挿入の流れが理解できる	（演習）チェックリストを用いた「レベル2-B」の演習、点滴静脈留置針挿入	新人教育担当者
	6か月の振り返り	6か月の看護実践の振り返り、6か月間の評価をもとに自己課題、目標を整理し、今後の看護実践に活かす	6か月の看護実践を振り返り、自己課題を整理する （グループワーク）情報の共有、交換	教育研修推進室
	レベルⅠグローバルヘルス	所属部署や所属施設だけでなく、地域の関連施設、日本国内、国外へと関心を向けることができる	（講義）（グループワーク）グローバルヘルスとは、国内外の保健・医療・看護・福祉の動向、施設の地域の歴史や文化 他	看護副部長
	感染対策フォローアップ	感染経路別予防策の、正しい知識と行動を身につけることが出来る	（講義）（グループワーク）	感染管理認定看護師
	事故防止フォローアップ	エラーの要因を理解し、対策の実践につなげることができる	（講義）（グループワーク）	専従リスクマネージャー
	ラダー学習会 Ⅱ	・ナラティブ事例、申請書類の書き方、評価会のもち方について学び	（講義）ナラティブ事例・申請書類の書き方、評価会の開き方	ラダー認定委員会委員
	9か月の振り返り	9か月の看護実践を振り返り、グループで共有し、自己課題、目標を整理できる	9か月を振り返り、自己課題を整理する （グループワーク）情報の共有・交換	教育研修推進室
	リフレッシュ研修Ⅱ	・思いや悩みを共有し、活力をつける ・日頃の対人関係を振り返る	リフレッシュ研修Ⅰと同グループでのグループワーク	新人教育担当者
	11か月の振り返り	11か月間の評価をもとに自己課題、目標を整理し、2年目に向けて今後の看護実践に活かす	11か月の看護実践を振り返り、2年目に向けて自己課題を整理する （グループワーク）情報の共有、交換	教育研修推進室
	レベルⅠ輸血Ⅱ （演習）	ねらい：輸血についての基本的知識と技術を学び、安全で確実な実施方法を学ぶ 到達目標：1．輸血についての基本的知識と技術を復習する ２．院内マニュアル「輸血実施手順書」に沿った手順を習得する	（演習）輸血実施手順に沿った「輸血」の流れの実施、輸血セット刺入	各部署の実地指導者
	多重課題シミュレーション	多重課題・時間切迫に対する能力を育成する	シナリオに基づいたシミュレーションの実施、部署指導者によるフィードバック	各部署
レベル別研修	レベルⅢ 看護の動き	1.看護・医療を取り巻く状況と看護の動きがわかる。 2.当院看護部の方針と今年度の取り組みを理解する。 3.上記1、2を踏まえて、組織の一員としての自己の役割と課題が明確になる。	（講義）（グループワーク）	看護主任
	レベルⅡコミュニケーション	自己のコミュニケーションの傾向を知り、他者との関わりに活かすことができる	（講義）（グループワーク）	院外講師
	レベルⅡ 倫理	ねらい：倫理的に看護実践や状況を捉える思考を養う 目標：（61）医療・看護の倫理と現実の間の倫理的問題に対応できる。 （71）倫理的問題に気づき、他者へ相談し解決しようとしている。 （89）日常の業務の中での赤十字の基本原則をどのように実現しているか、振り返ることができる。	講義：看護倫理の思考と実践のプロセスの理解 事例検討のすすめ方 グループワーク：モデル事例を用いた分析の練習	看護倫理委員会委員

カテゴリ	研修プログラム名	ねらい・目標	研修内容	講師
レベル別研修	レベルⅡ問題解決過程	患者の個別性をふまえた看護問題を捉え、解決に向けて看護実践できるための方法を学ぶ	（講義）（グループワーク）	院外講師
	レベルⅡ対人関係能力	看護場面での効果的なコミュニケーション技術を学ぶ	（講義）（グループワーク）	院外講師
	レベルⅡグローバルヘルス	（ねらい）赤十字看護職員としてグローバルヘルスの視点を養う （目標）1、国内外の保健・医療・看護・福祉の動向について知る ２、グローバルヘルスについて理解する 3、グローバル化に伴う地域の健康問題について知る	（講義）（グループワーク）	看護副部長
	レベルⅢグローバルヘルス	ねらい：赤十字看護職員として、グローバルヘルスの視点を養い、自施設のある地域の健康問題について考えることができる 目標： 1）国内外の保健・医療・看護・福祉の動向について知る 2）グローバルヘルスについて理解する 3）災害時、被災地域の文化やその地域の特性をふまえ、過酷な環境下での自己の危機管理・セルフケアマネジメントについて知る 4）グローバル化に伴う地域の健康問題について知る	1．☒ローバルヘルスとは 2．☒内外の保健・医療・看護・福祉の動向について 3．☒害時、被災地域の文化やその地域の特性をふまえ、過酷な環境下での自己の危機管理・セルフマネジメントについて 4．グローバル化に伴う地域の健康問題について	看護副部長
	レベルⅡフィジカルアセスメント	ねらい： フィジカルアセスメント能力を高め、実践に結びつけることが出来る 到達目標： フィジカルアセスメントに必要な知識が習得できる アセスメントを統合し適切な報告ができる	講義、テスト、グループワーク	認定看護師
赤十字看護部研修	救護員としての赤十字看護師フォローアップ研修	赤十字救護員の役割を理解し、災害の状況に応じた看護活動が実践できる看護師を育成する	（講義）DVDまたはYouTube視聴：日本における災害対策および日本赤十字社の災害救護活動、災害看護の基礎的知識と応用、こころのケア （演習)グループワーク、トリアージ	松江赤十字病院救護看護師指導者
	災害看護論・災害救護研修	救護員としての赤十字看護師として登録・任命されるために必要な知識・技術・態度を修得する	（講義）災害看護論 （演習）災害救護演習	松江赤十字病院救護看護師指導者 日本赤十字社島根県支部
	日本赤十字社救急法	・日本赤十字社救急法を学ぶことで、赤十字看護師としての任務を自覚し、救護活動に活かせる知識技術を習得する	（講義）（実技）救急法概論、一次救命処置、急病・けが・きずの手当て・骨折の手当て・運搬・救護 （検定）学科、実技	松江赤十字病院　救急法指導員
	赤十字概論	救護員としての赤十字看護師として登録・任命されるために必要な知識・技術・態度を修得する	(講義）（実技）赤十字概論	松江赤十字病院救護看護師指導者 日本赤十字社島根県支部
	災害時のこころのケア研修会	・災害による被災者及び救護員が被る心理的影響の特性とこころのケアの重要性について理解を深める ・被災者に対するこころのケアの実施と救護員自身のこころのケアに対する対処方法を習得する	（講義・演習） 日本赤十字社のこころのケア、災害時のストレスとストレス反応、被災者へのケア、救護員へのケア、こころのケアの実際 （演習）ロールプレイ	こころのケア指導者
役割別研修	感染症患者対応チーム研修	・チームメンバーの役割を自覚する ・感染症病棟に入院する対象の理解と基本的な患者対応を習得する	6月29日(月)【講義】チームメンバーの役割等 【見学】感染症病床 7月29日(水)　または　31日(金)　【演習】フルPPE着脱、吐物処理・採血	感染管理認定看護師
	◆令和8年度　看護職と看護補助者との協働推進の為の研修会 業務における看護職・補助者の役割について考える	看護師と看護補助者との協働について、役割分担・業務遂行に対するお互いの考え方をわかり合うことで、それぞれの職種が日々の看護業務における役割を果たしやすくなる	1）「看護師による看護補助者への指示について」ミニ講義 2）グループワーク 3）発表・まとめ	看護補助業務委員会
	新人指導 （フレッシュパートナー研修）	フレッシュパートナーとして、新人の自己目標・課題達成に向けて共に学び育む事で、自己の成長につなげる	（講義・演習）PNSにおける新人看護職員教育体制、経験知の少ない看護師とペアを組むこと、パートナーシップ・マインド、フレッシュパートナーの役割、効果的な指導ポイント	新人看護職員臨床研修部会
	ラダー勉強会（評価会司会者）	評価会司会者の役割と配慮について学ぶ	（講義）キャリア開発ラダーの目的、評価会の目的、準備、司会進行の仕方、ファシリテーター （演習）評価会のシミュレーション	ラダー認定委員会委員

カテゴリ	研修プログラム名	ねらい・目標	研修内容	講師
役割別研修	実習指導研修	部署の実習指導をふりかえり、実習環境の整備に役立てる	（グループワーク）情報共有、意見交換	実習指導研修担当者
	新人教育担当者研修	次年度の新人看護職員を迎えるにあたっての心構えと、指導の実際を学ぶ	（講義・グループワーク）新人看護職員臨床研修ガイドライン、新人看護職員の現状、支援体制、計画立案・評価、研修方法、指導ポイント、学習支援のあり方	新人看護職員臨床研修部会
看護職員対象研修	2年目看護職員「外来・療養支援」研修	外来看護と療養支援に関わる関連部門の機能・役割を知り、患者の看護・連携に活かすことができる	関連部署の見学・説明 研修後学習会で学びの共有 部署内発表	外来師長・外来看護師 患者総合支援C
	◆認知症ケア研修	認知症ケアの質の向上	認知症ケアに関すること	認知症看護認定看護師
	医薬品の取り扱いに係る研修会	医薬品安全使用の向上を図る 麻薬とハイリスク薬に関する正しい知識と取り扱いを学ぶ	講義	薬剤部長
	令和8年度　院内慢性腎臓病(CKD)他職種チーム研修会	CKDの病態や治療方法、進行抑制について学び、今回は特に透析療法を行なっている方への関わりに役立つ情報提供となることを目的とする。	腎不全の病態と透析についての知識、透析患者の食事や運動、看護のポイント	透析予防診療チーム
	令和8年度看護研究発表会	研究的視点で看護を見つめ、看護の質向上に役立てる	看護研究発表	院外講師
	看護研究 個別指導 1	ねらい：　　看護研究テーマの選択と看護研究計画書作成を支援し看護研究の質向上を図る 到達目標： 看護研究テーマの方向性を確認できる	看護研究計画書の個別指導	院外講師
	看護研究 個別指導 2	臨床での具体的な研究の取り組みと進め方を支援し、看護研究の質向上を図る	看護研究賀実践できる看護研究計画書への個別指導	院外講師
	看護研究 個別指導 3	ねらい：院外発表及び論文投稿を目指せるよう支援する。 到達目標：院外発表及び論文投稿に向けて課題を明確に出来る。	抄録・論文の個別指導	院外講師
	第1回摂食嚥下コース研修	コースのねらい：看護師が実施した摂食嚥下評価をもとに患者に適した食事形態の選択と必要な食事介助が出来る 第1回目標 　　病院の食事と摂食嚥下機能が理解できる	病院食を実食し、食事形態の種類と摂食嚥下に関わる意味を理解する	SSTチームメンバー
	第2回摂食嚥下コース研修	コースのねらい：看護師が摂食嚥下評価のもとに患者に適した食事選択と食事介助が出来る 第2回目標 ①口腔内の評価と適した口腔ケアの判断が出来る ②摂食に関連した全身状態のポイントがわかる ③摂食に関連する薬剤がわかる	①口腔内の評価②口腔ケア③全身状態と薬剤の影響について(座学)	SSTチームメンバー
	第3回摂食嚥下コース研修～スクリーニングシートを用いた嚥下評価からフローチャートを使ってみよう	コースのねらい：看護師が摂食嚥下評価のもとに患者に適した食事選択と食事介助が出来る 第3回目標 　　①嚥下フローチャートを理解する　改訂水飲みテストができる 　　②スクリーニングシートを用いて嚥下評価からアセスメントができる 　　③嚥下評価からフローチャートを活用してみよう 　　④事例	①嚥下フローチャートの理解②嚥下機能の評価　改訂水飲みテストができる　③評価からアセスメント④事例	SSTチームメンバー
	第4回摂食嚥下コース研修	コースのねらい：看護師が摂食嚥下評価のもとに患者に適した食事選択と食事介助が出来る 第4回目標 ①☒象に合った食事姿勢を整えることができる ②☒全な食事介助のための評価を行ない実践できる ③☒者体験を通して安全な食事姿勢と食事介助の重要性を理解できる	①基本的な食事姿勢のポジショニングと食事介助のポイントに関する講義　②食事姿勢の調整と食事介助の実践・患者体験	SSTチームメンバー
	第5回摂食嚥下コース研修	コースのねらい：看護師が摂食嚥下評価のもとに患者に適した食事選択と食事介助が出来る 第5回目標 看護師の視点で患者の食事に必要な療養支援を提案できる	①講義 ②事例検討	SSTチームメンバー

カテゴリ	研修プログラム名	ねらい・目標	研修内容	講師
看護職員対象研修	呼吸ケア研修会 ②酸素療法の基本とケア	ねらい：酸素療法について基礎知識を深め、看護に活かすことができる 到達目標： ①適切な酸素療法について理解できる ②患者個々に応じた適切な酸素デバイスを選択するための、正しい知識を身につけることができる ③安全な酸素療法を行うことができる	‘‘酸素カニューレは何リットルまで使えるの？‘‘ ‘‘SpO2はとりあえず100％にしておいたら安心？‘‘ ‘‘加湿は何リットルから必要なの？‘‘ など、普段当たり前に使用している酸素デバイスですが、今更聞けない酸素療法に関するあれこれを、この機会にもう一度学んでみませんか？ (講義) ※小テストあり	RST管理部会
	呼吸ケア研修会 ①気道管理の基本とケア	ねらい：気管切開患者の気道管理の基本とケアがわかる 到達目標： ①気管切開患者の気道管理の基本について理解できる ②加湿の原理について理解できる ③気管切開患者のケアについての知識を深め実践に活かせる	日々看護をする中で、一度は気管切開がなされている患者様を担当したことがあるのではないでしょうか。しかし、受け持つ機会事態は少なく、実際にどんな風になっているのか､どのようなカニューレなのか、またどんな管理が必要なのか・・・等不安に思われることも多いのではないかと思います。今回の研修では皆様のそうした疑問や不安が解消されるよう、前年度同様、気管切開の仕組みや必要なケア等についてお話ししたいと思います。また、RRS要請事例として気道に関する事案も少なくありません。今一度、A：Airway気道管理の重要性について、集中治療科医師よりお話ししていきたいと思います。この機会に是非、日頃の不安を解消してみませんか？	RST管理部会
	がん化学療法部会① 化学療法剤の過敏症について・抗がん剤の投与における血管確保、リスク	抗がん剤による過敏症と発症時の対応、抗がん剤投与のための穿刺について学ぶ	抗がん剤による過敏症について、アナフィラキシーの診断、治療、抗がん剤投与における安全な血管確保、リスクなど	化学療法科 がん化学療法看護認定看護師
	がん化学療法部会② 抗がん剤の基本的知識	抗がん剤の基本的知識ついて学ぶ	抗がん剤の特性、副作用など	血液内科
	がん化学療法部会③ 抗がん剤曝露対策	曝露対策の重要性が理解でき、マニュアルに沿った適切な対策をとることができる	抗がん剤曝露とは、マニュアルに沿った曝露対策	がん化学療法看護認定看護師
	がん化学療法部会④ 抗がん剤血管外漏出・レジメン管理について	・抗がん剤の血管外漏出について学ぶ ・安全な抗がん剤投与のためのレジメン管理について学ぶ	・抗がん剤の血管外漏出とは、予防と対策 ・安全のためのレジメン管理とは	形成外科副 がん専門薬剤師
	がん化学療法部会⑤　トピックス 副作用マネジメント	化学療法における副作用マネジメントについて学ぶ	未定	院内講師
	RRS勉強会第2弾 Time is sepsis ～あなたの気付きが患者を救う～ 敗血症を知り、早期に対応することの重要性について学ぼう！！	ねらい：敗血症の病態について学び、初期対応の重要性や必要な介入を知ることで、早期のRRS要請へ繋げることができる。 到達目標： 1）敗血症の病態について理解できる 2）病態から実際の治療や初期対応の必要性について理解できる 3）事例を通して、敗血症を疑う所見と必要な初期対応について理解できる	RRS要請の要因として、敗血症は最も多い事例の1つとなっており、病棟においても1度は経験したことがある方も多いのではないでしょうか？今回の勉強会では、敗血症がどんな病態なのか、なぜ怖いのか、どうして早期に対応しないといけないのか、何をすべきなのか･･･など、日頃の疑問についてお伝えしたいと思います。 敗血症への理解を深めることで、その予兆に気付き早期RRS要請へ繋げることを目的としていますので、この機会に今1度敗血症について一緒に学んでみませんか？	集中治療科 集中ケア認定看護師
	小児BLS研修	小児の一次急婦負処置ができる	医療従事者のための蘇生トレーニング	小児科 小児BLS受講経験者
	新生児救急蘇生 （N-CPR）Aコース	・新生児の蘇生法を理解し、出生時の対応を行う専門コース ・試験を受け、認定取得ができる	新生児蘇生法トレーニング	小児科医・産科医　N-CPRインストラクター、インストラクターを目指す人
	新生児救急蘇生 （N-CPR）Sコース	・新生児の蘇生法を理解し、出生時の対応を行う専門コース ・試験を受け、認定取得維持ができる	新生児蘇生法トレーニング（スキルアップ）	小児科医・産科医 N-CPRインストラクター インストラクターを目指す人
	院内ICLSコース研修	突然の心肺停止や急変事例に対して、適切なチーム蘇生が行える	医療従事者のための蘇生トレーニング	ICLS認定インストラクター インストラクター及びICLS受講者
	院内ICLSコース研修	突然の心肺停止や急変事例に対して、適切なチーム蘇生が行える	医療従事者のための蘇生トレーニング	ICLS認定インストラクター インストラクター及びICLS受講者

カテゴリ	研修プログラム名	ねらい・目標	研修内容	講師
看護職員対象研修	院内ICLSコース研修	突然の心肺停止や急変事例に対して、適切なチーム蘇生が行える	医療従事者のための蘇生トレーニング	ICLS認定インストラクター
	院内ICLSコース研修WS	突然の心肺停止や急変事例に対して、適切なチーム蘇生が行える	医療従事者のための蘇生トレーニング指導者講習	ICLS認定インストラクター
	チームで取り組む医療安全	《ねらい》分析手法について学び、事例分析に活かせる 《目標》事例分析について理解することができる	事例分析 グループワーク	専従リスクマネージャー
部署オープン研修	糖尿病オープン研修 ①　糖尿病の概念と血糖管理のあり方～血糖コントロールの重要性について～ ②　糖尿病の食事療法～食事療法の基礎と腎症について、蛋白制限・塩分制限のコツ～	①糖尿病の病態について理解を深める。 ②一般的な糖尿病の食事療法、糖尿病性腎症の食事療法について理解を深める。	①糖尿病の病態について ②糖尿病の食事療法、糖尿病性腎症の食事療法について	①糖尿病内分泌内科 ②管理栄養士
	糖尿病オープン研修 ③糖尿病の合併症～糖尿病は血管の病気、合併症は怖い！～ ④糖尿病の運動療法	③糖尿病の合併症について理解を深める。 ④運動療法について理解を深める。	③糖尿病の合併症について ④糖尿病の運動療法について	③糖尿病内分泌内科 ④理学療法士
	糖尿病オープン研修 ⑤糖尿病の薬物療法～たくさんの治療薬、違いについてご存知ですか！？～ ⑥糖尿病の療養指導～患者さんへの関わりや疑問、一緒に解決しましょう！～	⑤糖尿病の薬物療法について理解を深める。 ⑥糖尿病患者に対する療養指導について理解を深める。	⑤糖尿病の薬物療法について ⑥糖尿病の療養指導について	③薬剤師 ⑥糖尿病看護認定看護師
専門コース（感染）	感染対策コース研修 基礎コースⅠ①	感染対策の基礎知識を得る	・感染とは ・標準予防策 ・微生物の基礎知識 ・各内容ごとにテスト ・研修後課題あり	感染管理認定看護師
	感染対策コース研修 基礎コースⅠ②	感染対策の基礎知識を得る	・感染経路別予防策 ・職業感染予防策 ・各内容ごとにテスト ・研修後課題あり	感染管理認定看護師
	感染対策コース研修 基礎コースⅡ①	感染対策に必要な知識・技術を習得し、日常業務の中での予防策実施につなげる	血管内カテーテル留置患者の感染防止 尿道カテーテル留置患者の感染防止 *各内容ごとにテスト・研修後課題あり	感染管理認定看護師
	感染対策コース研修 基礎コースⅡ②	感染対策に必要な知識・技術を習得し、日常業務の中での予防策実施につなげる	・人工呼吸器装着患者の感染防止 ・手術部位の感染防止 ・各内容ごとにテスト ・研修後課題あり	感染管理認定看護師
専門コース（感染）	感染対策コース研修 応用コース ①	感染症の診断・治療の流れについて習得し、看護ケアに活用する	感染症の治療① *各内容ごとにテスト・研修後課題あり	感染管理認定看護師
	感染対策コース研修 応用コース ②	感染症の診断・治療の流れについて習得し、看護ケアに活用する	感染症の治療② *各内容ごとにテスト・研修後課題あり	感染管理認定看護師
	感染対策コース研修 認定コース①	・所属部署における感染対策上の課題を明確にし、改善策を考える ・所属部署の感染対策活動を推進する ※院内登録看護師要件のひとつ	サーベイランス *各内容ごとにテスト・研修後課題あり	感染管理認定看護師
	感染対策コース研修 認定コース②	・所属部署における感染対策上の課題を明確にし、改善策を考える ・所属部署の感染対策活動を推進する ※院内登録看護師要件のひとつ	・感染対策に関する組織・法律 ・部門別感染対策 *各内容ごとにテスト・研修後課題あり	感染管理認定看護師

カテゴリ	研修プログラム名	ねらい・目標	研修内容	講師
専門コース（療養支援）	療養支援コース研修 基礎コース1①	地域医療・福祉・保健の連携の必要性や現状を理解する	地域連携について 松江圏域の医療・福祉・保健の現状について	院内講師
	療養支援コース研修 基礎コース1②	介護保険制度等、入退院支援に関わる各種制度の概略を理解する	介護保険制度、介護保険サービスの種類と特徴について 事例検討	医療社会事業課
	療養支援コース研修 基礎コース2①	入退院支援のプロセスを理解する	入退院支援のしくみについて	患者総合支援センター
	療養支援コース研修 基礎コース2②	意思決定支援について理解する 事例を通して入退院支援を理解する	患者・家族の意思決定プロセスについて 事例検討　（グループワーク）	院内講師
	療養支援コース研修 応用コース	患者・家族の療養生活の実際を理解する	退院前・退院後訪問指導の実施	患者総合支援センター
	療養支援コース研修 認定コース	症例を通して入退院支援の展開が出来る	症例のまとめ・発表	患者総合支援センター
専門コース（高齢者ケア）　看護部	高齢者ケアコース研修 基礎コースⅠ①	《ねらい》高齢者の特徴について理解できる　《目標》 ①高齢者の身体的・心理的特徴について理解できる ②高齢者の発達段階について理解できる ③高齢者とのコミュニケーション方法、意思決定支援について理解できる	（講義）・（グループワーク）・（ロールプレイ） ①高齢者について（身体的・心理的変化の特徴、発達段階の理解等） ②高齢者とのコミュニケーションについて、意思決定支援等 ＊事前課題、小テストあり	院内講師
	高齢者ケアコース研修 基礎コースⅠ②	《ねらい・目標》 認知症・せん妄の病態や使用する薬剤について理解できる	（講義） 認知症/せん妄について（病態、治療）	院内講師
	高齢者ケアコース研修 基礎コースⅡ①	《ねらい・目標》 認知症の看護について理解できる	（講義）・（事例検討） 認知症看護について（病態、鑑別、アセスメント、看護） ＊事前課題、小テストあり	高齢者ケア院内登録看護師
	高齢者ケアコース研修 基礎コースⅢ①	《ねらい・目標》 せん妄の病態・看護について理解できる	（講義）・（事例検討） せん妄について（病態、鑑別、アセスメント、看護） ＊事前課題、小テストあり	高齢者ケア院内登録看護師
	高齢者ケアコース研修 基礎コースⅢ②	《ねらい》 高齢者の身体拘束最小化に向けた看護が理解できる 《目標》 ①高齢者への身体拘束最小化へに向けた看護実践が出来る ②部署での身体拘束最小化の取組みを考えることが出来る	講義・演習（グループワーク他） 高齢者の身体拘束最小化に向けた看護実践について ＊事前課題、小テストあり	高齢者ケア院内登録看護師
	高齢者ケアコース研修 応用・認定コース	《ねらい・目標》 症例を通して高齢者の看護展開ができる	（症例発表） まとめた症例を発表する ＊事前課題：部署で症例の看護展開をし、まとめる ①患者紹介 ②アセスメント ③看護計画 ④看護実践 ⑤振り返り	院内講師
専門コース（褥瘡）	◆褥瘡コース研修 １．応用・認定コース治療編①	1.褥瘡分類と褥瘡治癒過程の知識を得ることができる 2.症例の褥瘡評価ができる	【事前学習】 ①褥瘡の治癒過程 ②急性期・慢性期褥瘡 ③褥瘡分類（NPUAP） ④褥瘡治癒過程評価（ＤＥＳＩＧN-R® 2020） 【当日】 様々な症例のＤＥＳＩＧN-R® 2020評価	院内登録看護師（褥瘡ケア）
	◆褥瘡コース研修 ２．基礎Ⅰコース基礎知識①	1.褥瘡・MDRPUに必要な基礎的知識を得ることができる 2.症例を通して褥瘡対策に関する診療計画書が立案できる 3.褥瘡・MDRPUの具体的な予防対策が分かる	【事前学習】 ①褥瘡とは ②MDRPUとは ③リスクアセスメント 【当日】 褥瘡対策に関する診療計画書の立案 具体的な予防対策	院内登録看護師（褥瘡ケア）

カテゴリ	研修プログラム名	ねらい・目標	研修内容	講師
専門コース（褥瘡）	◆褥瘡コース研修 ３．基礎Ⅰコース基礎知識②	1.褥瘡予防に必要なスキンケアの基礎的知識を得ることができる 2.スキンケアの具体的方法が理解できる	【事前学習】 ①スキンケアとは ②スキンケアの具体的方法（洗浄・保湿・保護） 【当日：演習】 スキンケア（洗浄・保湿） テープ貼付除去等	院内登録看護師（褥瘡ケア）
	◆褥瘡コース研修 ４．基礎Ⅰコース基礎知識③	1.スキンテア・失禁関連皮膚炎（IAD）について知識を得ることができる 2.スキンテア・IADの具体的な予防対策が分かる	【事前学習】 ①皮膚の解剖 ②スキンテアとは ③失禁関連皮膚炎（IAD）とは 【当日】 具体的な予防対策・発生時の対処法	院内登録看護師（褥瘡ケア）
	◆褥瘡コース研修 ５．基礎Ⅱコース基礎知識④	1.褥瘡予防に必要な栄養管理の知識を得ることができる 2..症例を通して栄養管理のケア計画が立案できる	【事前学習】 ①栄養管理について ②栄養剤の種類 【当日】 症例検討（栄養管理計画）	褥瘡対策委員会管理栄養士
	◆褥瘡コース研修 ６．基礎Ⅱコース基礎知識⑤	1.褥瘡予防に必要な体圧分散の知識を得ることができる 2.演習を通して体圧分散ケアについて具体的な褥瘡予防・対応策が分かる	【事前学習】 ①体圧分散について ②体圧分散用具 【当日：演習】 体圧分散ケア	褥瘡対策委員会理学療法士　大下真紀子
	◆褥瘡コース研修 ７．応用・認定コース治療編②	1.ガイドラインに基づいた局所治療の知識を得ることができる 2.創傷被覆材・軟膏の特徴を理解できる 3.症例を通して治療計画が立案できる 4.退院調整について理解できる	【事前学習】 ①ＤＥＳＩＧＮ-R®　2020を用いた局所治療 ②創傷被覆材・軟膏 ③退院調整 【当日】 様々な症例の局所治療計画 症例検討（退院調整）	皮膚・排泄ケア特定認定看護師
専門コース（緩和ケア・がん看護）	緩和ケア・がん看護コース研修 基礎コースⅠ　緩和ケア・がん看護概論	ねらい　そのケアに”こころ”を添えて　～みんなで実践基本的緩和ケア　～ 患者のQOL・・”その人らしさ”を支えるためのケア方法を学ぶ 目標 ①基本的緩和ケアを理解する ②がん患者・家族の特徴と看護師の役割を理解する	１．事前課題 ２．講義　１）がん患者(家族）の苦痛　　２）基本的緩和ケアについて　　３）生活のしやすさに関する活用　４）緩和ケアナビ等活用とチームとの連携 ３．アンケート	がん看護専門看護師
	緩和ケア・がん看護コース研修 基礎コースⅡ　コミュニケーションとケア	(ねらい）がん患者に寄り添うコミュニケーションを理解する	生活のしやすさに関する質問票を活用した患者のつらさを理解するためのコミュニケーション	緩和ケア認定看護師
	※緩和ケア・がん看護コース研修 基礎コースⅢ意思決定支援①	がん患者・家族が自分らしい選択がおこなえるよう、意思決定支援に必要な知識・技術・態度を理解する。	１．意思決定支援とは ２，がん医療における意思決定支援の特徴 ３，意思決定支援における看護市の役割 ４，グループワーク（放射線治療・終末期の療養場所・化学療法・手術等実際の事例をもとにした検討）	がん放射線治療看護認定看護師 乳がん看護認定看護師 がん化学療法看護認定看護師
	※緩和ケア・がん看護コース研修 Ⅲ　意思決定支援②	がん患者・家族が自分らしい選択がおこなえるよう、意思決定支援に必要な知識・技術・態度を理解する。	グループワーク	がん放射線治療看護認定看護師 乳がん看護認定看護師 がん化学療法看護認定看護師
助産師クリニカルラダー（レベル新人）	助産師クリニカルラダー（レベル新人） 分娩の間接介助	分娩時に直接介助者及び産婦への適切な援助ができる	・当院での間接介助手順、使用物品 ・STS実施手順、注意事項 ・インファントウォーマーの準備、使用方法	6階周産期センター助産師
	助産師クリニカルラダー（レベル新人） 母乳育児支援	WHO母乳育児成功のための10ヶ条、母乳栄養確立のための援助に必要なコミュニケーション技術や指導方法を学ぶ	(講義・演習) ・WHO母乳育児成功のための10ヶ条 ・当院での母乳育児支援(母乳の利点、STS、補足基準など) ・母乳育児支援に必要なコミュニケーション技術	6階周産期センター助産師
	助産師クリニカルラダー（レベル新人） 骨盤ケア	・妊娠中のマイナートラブルについて理解できる ・骨盤の解剖が理解でき骨盤ケアの実施ができる	(講義・演習) ・骨盤の解剖、妊娠中のマイナートラブル、操体法、骨盤ケアの実際	6階周産期センター助産師

カテゴリ	研修プログラム名	ねらい・目標	研修内容	講師
助産師クリニカルラダー（レベル新人）	助産師クリニカルラダー（レベル新人） キャリアクリニカルラダー	・助産師クリニカルラダーについて理解できる ・助産師の役割と使命、スキルアップの必要性が理解できる ・助産師の職業的倫理感、社会的役割が理解できる ・安全で満足度の高い助産ケアを提供するための臨床実践能力向上と自己研鑽・自己評価の必要性が理解できる	(講義) ・助産師クリニカルラダー、新人助産師教育について ・助産師の役割と使命、スキルアップの必要性 ・助産師の職業的倫理観、社会的役割 ・臨床実践能力向上のための自己研鑽、自己評価の必要性	6階周産期センター助産師
	助産師クリニカルラダー（レベル新人） 周産期ケアにおける感染予防･安全管理	・周産期における特徴的な感染対策について理解できる ・助産師に関連する法律について理解できる ・周産期のインシデント・アクシデントについて理解できる	(講義・演習) ・周産期における特徴的な感染対策について ・助産師に関連する法律 ・周産期のインシデント・アクシデント	6階周産期センター助産師
看護部助産師クリニカルラダー（レベル新人）	助産師クリニカルラダー（レベル新人） 社会資源の活用、出生証明書の管理・産科医療補償制度の手続き	・妊産婦が活用できる社会資源が理解できる ・院内の医療社会事業部・地域保健師等との連携について学ぶことができる	(講義) ・妊産婦の活用できる社会資源、活用の実際 ・他職種、地域との連携について ・出生証明書の管理、産科医療補償制度について	6階周産期センター助産師
	助産師クリニカルラダー（レベル新人） 妊婦健康診査、母子手帳	外来診療における助産師の役割を理解できる	(講義) ・妊婦の看護と保健指導 ・当院の外来での妊婦健康診査の実際 ・母子手帳の活用の仕方	6階周産期センター助産師
	助産師クリニカルラダー（レベル新人） 集団指導(沐浴・育児・退院・調乳)	集団指導の必要性及び指導内容、指導技術を学び理解でき、実施することができる	(講義・見学) ・当院での集団指導の実際 ・集団指導におけるコミュニケーション技術	6階周産期センター助産師
	助産師クリニカルラダー（レベル新人） 分娩監視装置の装着と判断	・CTGによる胎児心拍モニタリングの適応を理解できる ・適切な装着と説明ができる ・ガイドラインに基づき判読できる ・モニタリング結果に応じて報告ができる	(講義・演習) ・CTGによる胎児心拍モニタリングの適応・正しい装着方法と判読 (基礎・応用)	産婦人科医師
	助産師クリニカルラダー（レベル新人） ペリネイタルロスケア 倫理(事例検討･ケアリング)	周産期における死産・早期新生児死亡時の両親へのグリーフケアのあり方について学ぶ	(講義) ・周産期におけるグリーフケア ・病棟でのケアや手続きについて ・事例検討	6階周産期センター助産師
	助産師クリニカルラダー（レベル新人） 母親･両親学級における妊婦保健指導	・母親学級、両親学級の目的、実施手順が理解できる ・効果的な指導内容を企画・検討し実践に活用できる	(講義・見学) 母親学級の目的、内容、準備手順 母親学級の見学 両親学級の目的、内容、実施手順	6階周産期センター助産師
	助産師クリニカルラダー（レベル新人） 異常分娩 産科救急	・産科診療ガイドラインをもとに、分娩期に起こりやすい異常について理解する ・正しい経過をしていても急変することがあるお産の特殊性を理解し、緊急時に対応することができる知識を習得する	産科診療ガイドラインをもとに、産科で起こりやすい症例について	島根県看護協会
	助産師クリニカルラダー（レベル新人）助産診断 正常新生児管理	・正常分娩を扱う上での、適切な診断と適切な助産技術の提供をするための助産診断を習得する ・正常新生児の出生直後から退院するまでの経過診断に必要な知識を習得する	正常新生児の出生直後から退院するまでの経過診断について	島根県看護協会
	助産師クリニカルラダー（レベル新人） 正常分娩の直接介助(講義)	産婦の安全安楽を考慮した正常分娩（1～4期）における分娩介助技術を理解できる	・当院での正常分娩介助手順、準備物品 ・分娩後の観察、帰室手順	6階周産期センター助産師
	助産師クリニカルラダー（レベル新人） 正常分娩の直接介助(演習)	・産婦の安全安楽を考慮した正常分娩（1～4期）における分娩介助技術を実践できる ・分娩時の助産診断、助産計画の立案ができる	・分娩介助技術の実践(分娩介助のデモストレーション、使用物品の準備、配置、使用機器の操作) ・助産診断、助産計画について	6階周産期センター助産師